

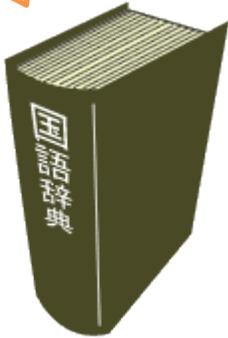
年末年始課題帳

小学校

国

語

ねばり強く、  
よく読んで、  
解いていこう！



名前

小学校  
年組

# 1 正しくつながるように書く

月 日

一 次の一から三の（ ）に入る言葉を、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

一 さか上りができなかった。（ ）（ ）がんばって練習した。

1 だから 2 または 3 なぜなら 4 ところで

二 朝から雨がふっている。（ ）（ ）風も出てきた。

1 それとも 2 それでは 3 それに 4 あるいは

三 友達の家で電話をした。（ ）（ ）友達はいなかった。

1 そのため 2 けれども 3 このように 4 それから

二 次の、中西さんが放送委員としての一年間の目標について書いた文章です。報告文の **ア**・**イ** **ウ**の中に入るふさわしい言葉をあとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましよう。

## 【中西さんが書いた一年間の目標】

わたしは、放送委員としての一年間の目標を二つ立てた。

一つは、みんなが時間に合わせて学校生活を送ることができるよう、放送をする時こくをしっかりと守ることである。 **ア**、朝や昼、帰りに放送をする時こくをメモに書き、こまめに時計を見て確かめようと思う。

**イ**、放送を聞いている人に、内容を正しく伝えることができるように、話し方をくふうすることである。そこで、放送をする前に、原こうを読む速さや間の取り方を練習しようと思う。

**ウ**、二つの目標の達成を目指して、一年間努力していきたい。

- 1 以上のように
- 2 その理由は
- 3 そのために
- 4 反対に
- 5 もう一つは

挑戦してみよう

なぜ**ア**、**イ**、**ウ**をそのように考えたのか、理由を書いてみよう！

ア
イ
ウ

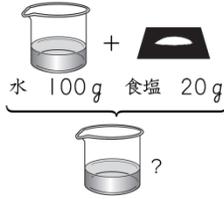
【実験報告文の一部】

(1) 調べたこと

水にとかした食塩の重さはどうなるかを調べた。

(2) **ア**

- ① 水 100 g をはかりとる。
- ② 食塩 20 g をはかりとる。
- ③ 食塩 20 g を水 100 g に入れてとかし、できた食塩水の重さをはかる。



(3) **イ**

食塩は、水にとけると重さがなくなってしまうので、食塩水全体の重さは、100 g になるのではないか。

(4) **ウ**

とかず前の重さ		とかした後の重さ
水	100 g	食塩水全体の重さ
食塩	20 g	
全体の重さ	120 g	120 g

食塩を水にとかず前の全体の重さと、食塩を水にとかした後の食塩水全体の重さは、どちらも 120 g だった。

(5) 考えたこと

食塩は、水にとけてもその重さはなくならないと考えた。

- |   |      |      |      |
|---|------|------|------|
| ア | 1 目的 | 2 注意 | 3 方法 |
| イ | 1 準備 | 2 予想 | 3 条件 |
| ウ | 1 評価 | 2 結果 | 3 想像 |

二 南田さんは、水にとかした食塩の重さについて実験をし、報告文を書きました。報告文の **ア**・**イ**・**ウ** の中に小見出しを書きます。小見出しとしてもっともふさわしいものを下の 1 から 3 までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号に○をしましょう。

【学校をしょうかいする文章の一部】

菜の花小学校のしょうかい

**ア** 学校ができた年

菜の花小学校は、平成10年4月に開校しました。創立10周年をむかえた学校です。



**イ** 学校の児童数

菜の花小学校の児童数は、370人です。児童数は、毎年少しずつ増えています。

年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
人数(人)	358	363	370

**ウ**

学校ができるときに、地域の人々から学校名を募集したところ、いろいろな名前が集まりました。話し合いの結果、学校名は、「菜の花小学校」に決まりました。春になると、学校の周りは、菜の花で黄色いじゅうたんをしきつめたようになります。



**ウ**

一 宮川さんは、他の学校の人たちに、自分たちの学校をしょうかいする文章を書きました。ア・イの小見出しのように、**ウ** に入るふさわしい小見出しを書きましょう。

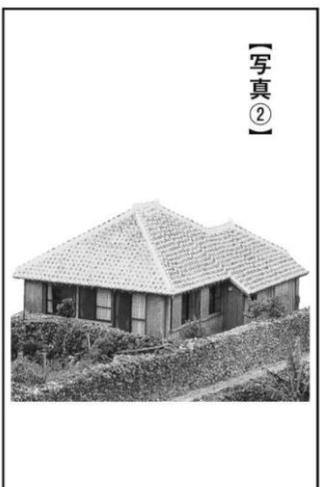
2 「小見出し」を考えよう

月 日

### 3 工夫して話そう

月 日

丸山さんは、自然とくらしについて調べ、【写真①】と【写真②】を使って発表しました。  
【発表原稿】を読んで、あとの問いに答えましょう。



【発表原稿】

発表の仕方

話す内容

ア  
数名に答えてもらう

ビルやマンションの屋根は、平らになっているものが多くあります。また、屋根全体が三角の形になっている家もあります。みなさんは、どんな形の屋根を見たことがありますか。

イ

屋根には、いろいろな形があります。わたしは、各地の屋根の写真をたくさん集めて、日本地図に置いてみました。

ウ

この屋根の角度は、急になっています。雪の多い地方では、このような屋根の家が見られます。なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか。

しばらく時間をおく

それは、できるだけ、雪が屋根に積もらないようにするためです。雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとかして流すなど、いろいろなくふうがあります。

エ

これは、角度がゆるやかな屋根です。どうしてこんなにゆるやかなのだと思いますか。

聞き手の反応を見る

このような屋根が見られる地方は、台風の進路にあたることで、多く、強い風から家を守る必要があります。屋根の角度が急であると、風をまともに受けてしまいます。だから、屋根の角度をゆるやかにして、台風のひがいをできるだけ受けないようにしているのです。かわらは、飛ばないように固めています。

オ

このように、家の屋根には、雪や台風などによるひがいに備えて、いろいろとくふうして作られているものがあります。

一 丸山さんは、発表をするときに、二枚の写真をそれぞれの場面で示せばよいか考えました。

【発表原稿】の中で「**写真①を示す**」・「**写真②を示す**」が入るところを、アからオまでの中からそれぞれ一か所選んで、その記号を書きましよう。

写真①を示す

写真②を示す

二 丸山さんの発表を聞いた福島さんは、——線部「なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか」について、「聞き手に問いかけたところがよかった」と言いました。  
なぜ、問いかけるとよいのかを説明しましょう。

--



## 4 新聞記事から読み取るう

月 日

次は、小池さんが住む糸野市で行われた、「図書祭り」について書かれた新聞の記事です。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

### A 読書の楽しさ広がる 糸野市 図書祭り

**B** 本の街、糸野市で19日から3日間、「図書祭り」が開催された。会場となった糸野市立図書館周辺では、祭りの名物となっている朗読大会や登場人物当てクイズなどのさまざまなイベントが開かれ、盛り上がった。



感情豊かに絵本を朗読する参加者

**C** 今年で3回目を迎える「図書祭り」には、市内外から昨年を約300人上回る約1200人ももの参加者があり、例年以上のにぎわいを見せた。会場周辺の道路は歩行者専用になり、本や作家の色紙を売る店が並んだ。地域交流館では、午前と午後に分け、登場人物当てクイズなどが催された。特に人気だったのが朗読大会。プロの声優顔負けの朗読をした同市の小畑陽二さん(12)は、「みんなから大きな拍手をもらってとてもうれしかった。これからいろいろな本の朗読に挑戦したい」と笑顔。祭りを企画した図書館長の平原直子さん(55)は、「年々、市立図書館の利用者数が少なくなっているが、この祭りを通して、読書をする楽しみをいろいろな形で感じてもらえたと思う。このことが利用者数の増加につながればうれしい」と声をはずませていた。

一 小池さんは、この記事の中のA・B・Cの三つの関係について考えました。三つの関係の説明としてふさわしいものを、次の1〜4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 記事の中で最も伝えなかった内容をAで示し、それに賛成する考えをB、反対する考えをCに書いている。
- 2 記事として取り上げた内容の中で最も古い事実をAで示し、次に起こった事実をB、その次をCと順番に書いている。
- 3 記事の中で問題となっている事実をAで示し、それを解決するための具体的な方法をBとCに書いている。
- 4 記事の内容を短い言葉で見出しにしてAで示し、その内容をBからCへとだんだんくわしく書いている。

二 小池さんは、この記事を読んで、糸野市立図書館において問題となっている事実が示されていることに気が付きました。それは、どのような事実ですか。本文中の言葉を使って書きましよう。



# 6 調べたことをもとにして書こう

月 日

六年生の山中さんは、「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を読んで、興味をもちました。そこで、自分たちの小学校における五十メートル走の平均タイムの変化について調べ、次の報告文を書きました。よく読んで、あとの問いに答えましょう。

## 五十メートル走の平均タイムの変化

第一小学校 六年 山中 洋平

### 一 調べた理由

「小学生の体力は二十年前よりも低下した」という記事を見つけました。そこには、全国の小学校六年生の五十メートル走の平均タイムが下の【表】のようにまとめられていた。平成十九年のタイムが、二十年前の昭和六十二年よりもおそくなっていた。ぼくたちの学校でも同じだろうかというぎもんがわいてきた。そこで、第一小学校の平均タイムの変化について調べ、記事と比べてみることにした。

【表】50メートル走の平均タイムの変化  
(全国の小学校6年生)

男子		女子	
昭和62年	平成19年	昭和62年	平成19年
8秒60	8秒91	8秒91	9秒19

### 二 調べた内容と結果

第一小学校における六年生の五十メートル走の平均タイムの変化について、平成二十一年(現在)と、昭和六十二年(記事で取り上げられていた約二十年前)を取り上げて調べた。

#### ◆平成二十一年の第一小学校六年生の平均タイム

一つめとして、ぼくたち六年生の平均タイムを調べた。

まず、体育の時間に学年全員の五十メートル走のタイムを計った。走った人数は、男女ともに三十五人ずつだった。

(右下に続く)

次に、平均タイムを先生に出してもらった。平均タイムは、男子は九秒〇、女子は九秒三だった。

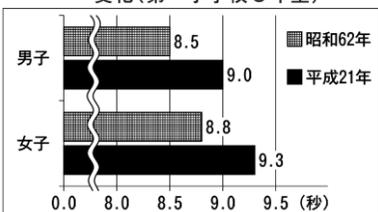
#### ◆昭和六十二年の第一小学校六年生の平均タイム

一つめとして、昭和六十二年のぼくたちの小学校の六年生の平均タイムを調べた。学校図書館でさがしたが、データが見つからなかった。そこで先生に相談すると、先生がデータを見つけてくださった。平均タイムは、男子は八秒五、女子は八秒八だった。

### 三 まとめ

平成二十一年と昭和六十二年の第一小学校の平均タイムを、下の【グラフ】のよう まとめた。

【グラフ】50メートル走の平均タイムの変化(第一小学校6年生)



A

調査をきっかけに、もっと速く走れるようになるにはどうすればいいのだろうと考えるようになった。これからも、体力や運動の仕方などに関心をもって、いろいろな本を読んで調べたり、積極的に運動に取り組んだりしたい。

